

平成29年度 学校自己評価表

計画段階

実施段階

福岡県立浮羽究真館高等学校長 印

学校運営計画			評価(3月)		
学校運営方針	校訓「立志・錬磨・不愧」の精神に基づく人づくりを通して地域社会に有為な人材を育成する。生徒の確かな学力の育成に努め、希望進路の実現を図るとともに、人権意識の醸成に努め、いじめの撲滅をはじめとした生徒にとって安心・安全な教育環境を保障し、地域に信頼される普通科高校としての定着と新たな伝統づくりに邁進する。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
創立10周年を経て、本校の更なる発展を目指し、社会に貢献できる生徒の育成と地域に信頼される学校づくりに向けて一層の工夫と努力をする必要がある。「鍛ほめ福岡メソッド」を展開するため、生徒の実態に即した愛情ある厳しい指導を展開し、「チーム究真館」として職員が一致団結することにより、学校の活性化・特色化を推進するとともに、社会的自立の基礎となる学力・体力・豊かな心の育成を図る。	究真館三原則の徹底	・究真館三原則の一つである「時を守る」を徹底する。(5分前行動を徹底する) ・究真館三原則の一つである「場を清める」を実践する。(掃除・環境整備を徹底する) ・究真館三原則の一つである「礼を正す」を実践する。(挨拶を励行し、良好な人間関係を構築する)			
	基礎学力の定着と学力伸長	・生徒に活躍の場を提供し、「鍛えて、ほめる」ことで生徒の自尊感情を高める。 ・生徒の学力に合った「基礎学力の定着」と3年後の進路を見通した学力伸長を図る。 ・早期適応指導を積極的に実施し、あらゆる機会を通して「規範意識の醸成」を図る。			
	アクティブ・ラーニングの推進と進路指導の充実	・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を推進し、進路実現のための「確かな学力」を身に付けさせる。 ・3年間を見通したキャリア教育を推進し、進路実現を図る。 ・生徒の自主的、自発的な態度を育成し、学校行事や部活動の活性化を図る。			
	うきは市唯一の県立高校として、地域に愛される学校づくりの推進	・地域の行事、ボランティア活動に積極的に参加し、学校行事等を公開することを通して、地域に愛される学校づくりを推進する。 ・生徒の人権を尊重し、いじめや体罰のない安心・安全な教育環境づくりに努める。 ・あらゆる機会・メディアを活用し、生き生きとした本校生徒の魅力を地域に発信する。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題
学習指導	個に応じた学習指導体制を充実させる。	各教科の課題実施状況や生徒の家庭学習時間等に関して各学年教務が調査・連絡・調整を行う。 習熟度別クラスの再編成や成績不振者指導を適時実施し、生徒の学習意欲の維持に努める。			
	「学びやすい」学習環境の整備する。	教科担当者は授業5分前に教室で授業開始の準備を促すとともに、教室の環境整備を徹底する。 遅刻・欠席の理由や原因を明確にし、個別指導や家庭訪問を通じて出席率98%以上を達成する。			
	「わかる」授業を迫及するための授業改善を行う。	習熟度別授業の授業効果を高める。 ICT機器を活用することで生徒の理解度や意欲を確認し、授業の改善につなげる。			
生徒指導	交通安全指導を徹底し、交通事故を撲滅する。	二輪車普及協会と協力し、バイク実技指導を実施する。 バイク通学許可式や全校集会など時宜を得た交通安全講話を行う。			
	地域に愛され元気のある生徒を育成する。	始業式において、職員による朝の挨拶運動を行う。 定期的に地域を巡回しマナー指導を実施する。			
	豊かな心を育成し、差別やいじめを防止する。	いじめアンケートや二者面談で生徒の実態把握に努め、定期的に報告する。 善行を表彰し、集会ごとの校歌指導を徹底する。			
進路指導	希望進路実現100%を目指す	進路希望調査を定期的に行い、生徒の進路希望を把握し、面談指導に役立てる。 生徒の進路希望に応じた講演会や講座などを実施し、進路目標の早期確定を意識させる。			
	更なるキャリア教育の推進	3か年の生徒育成プランを定着させ、進路実現に向けた学びに対する意欲を高めさせる。 課会議を定期的実施し、課題研究や「総合的な学習の時間」の取り組みをさらに充実させる。			
	学習時間の増加	様々な情報を発信することで、進路意識及び自己の教育力の向上を図る。 課外・土曜チャレンジセミナー・勉強合宿などの学習機会を見直し、実態に合った運営をする。			
研修	充実した職員研修を実施する。	本校の課題に即した校内職員研修会を各学期に1回ずつ実施する。 教育センターなど校外の研修への参加を推進する。			
	職員の授業力の向上を目指す。	電子黒板等ICT機器の活用についての研修会を実施する。 授業アンケートを2回実施し、各職員が課題を見つけ、改善を行う。			
	図書館の活用を進め、読書の習慣をつける。	朝の読書を徹底させ、校内放送での読み聞かせや全校一斉読書などの企画を実施する。 書籍に関する情報を発信し、生徒、職員の図書館の活用を推進する。			

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
庶務	式典・儀式の計画および庶務関係行事を円滑に実施する。	式典・儀式や行事は、関係部署との連絡調整を十分に行いながら、1ヶ月前を目途に計画する。 消防署と連携し、火災・地震や洪水の防災のため避難訓練(消火栓訓練を含む)を7月に実施する。		
	丁寧かつ正確に庶務を実施する。	教育必携・学校要覧・新入生のしおりを計画的かつ正確に作成、管理する。 年度当初の職員名簿・名刺・名札作成、日直・電話当番割などの各学期はじめの庶務を確実に行う。		
	総会や各種委員会など、PTA活動の活性化を図る。	マ・メールによる連絡網を効果的に活用し、総会や各種委員会などのPTA活動を活性化する。 年3回広報誌「みのうの風」発行する。また、広報課と協力しホームページでPTA活動を発信する。		
	同窓会との連携および本校独自の育英会奨学生の的確な激励指導を行う。	同窓会総会・支部総会の開催協力を行う。また、1期生からの卒業生名簿データを確実に蓄積する。 本校独自の育英会(浮羽究真館、矢野本家)奨学生が本校生徒の手本となるよう激励していく。		
広報	魅力ある学校案内・ホームページにする。	本校で活躍している生徒の声を学校案内により反映させるなど内容等を工夫する。 ホームページ掲載内容を検討し、広報誌「白日別(しらひわけ)」を活用した新情報発信を心掛ける。		
	本校生徒の生き生きとした姿を地域に発信する。	「浮羽究真館だより」を通して、学校行事・部活動・地域ボランティア活動等での生徒の姿を伝える。 中学校訪問・学習塾訪問に関して、本校をよりアピールできる持参資料の内容を工夫する。		
	中学生進路相談事業を成功させる。	大ホールでの学校紹介用プレゼンのために生徒会との連携を図り、部活動にも協力を要請する。 限られたスペースでの展示内容を工夫し、本校の特長を発信する。		
保健・環境	生徒の健康に関する活動を推進する。	定期健康診断、健康相談、性と心の相談事業を有効に活用し、生徒の健康な生活を支援する。 保健委員会の活動(体育的行事の救護活動と健康意識向上につながる取り組み)を支援・指導する。		
	環境美化意識向上と清掃の効率化を目指す。	清掃分担や清掃用具の点検・改善を通じて、効率よく清掃に取り組むことができる環境を整える。 美化委員会の活動を支援し、生徒が主体的に環境美化に努める学校づくりに取り組む。		
	不登校や特別支援に関する計画的・組織的な対応を図る。	教育相談委員会を各学期に2回ずつ開催し、様々な問題を抱えた生徒への対応を協議・検討する。 配慮を要する生徒の情報を全職員で共有し、組織的な対応ができるような取り組みを行う。		
1年	基本的な生活習慣を確立する。	挨拶など日々の実践を通して、究真館三原則の意義を理解させ行動に移す意欲を育てる。 集団行動や集団活動の中での自他の存在意義や役割を自覚・認識させ言動に移す指導を実践する。		
	基礎学力の定着と資格取得を奨励する。	中学時の既習事項の再学習を通して、学習の有用性を認識させ、学習習慣の定着を図る。 英検、漢検の資格取得へ向け学年を挙げての対策を行う。		
	「心・技・体」のバランスの取れた人間形成を図る。	部活動への積極的加入と継続。また、県大会以上の大会への出場を目指す。 学校行事を通してクラス等の団結を図り、目標・目的の達成感を享受させる。また、愛校心の醸成を図る。		
2年	基礎学力を定着させる。	予習・復習の習慣を身に付けさせるとともに課題の量や質など学力に応じた適切な指導を実践する。 学校生活のあらゆる場面で、自らの生き方・在り方を考えさせ、学ぶ意欲を向上させる。		
	心身共に、たくましい人間力を育成する。	究真館三原則を徹底させるとともに、中堅学年としての自覚を持たせる。 年間出席皆勤者80名以上を目指し、リズムとハリのある生活を根付かせる。		
	自らの進路展望を現実化する。	具体的な進路目標とそれに対する具体的な努力点を設定し、行動させる。 インターンシップやオープンキャンパスへの全員参加と諸検定試験の受験・資格取得を推進する。		
3年	進路実現を達成する。	自己の可能性を信じ、安易に妥協しない適度な進路決定を図らせるための方策を考え実践する。 希望進路に応じた指導を徹底し、進路決定率・就職率100%を目指す。		
	社会の即戦力となる人間力を育成する	社会人としての在り方を考えさせ、きちんとした身だしなみやTPOをわきまえる生徒の育成を図る。 資格試験の積極的な受験を促し、卒業までに資格取得生徒90%以上を目指す。		
	心身の健康維持と社会への貢献を推進する。	年間出席皆勤者90人以上を目指すとともに、部活動では全国・九州大会出場を目指す。 ボランティア活動への積極的な参加を奨励し、上級学年として模範となる言動をさせる。		